

みんなで考え、育てよう。竹原の公共交通①

誰もが使いやすい公共交通づくりに取り組んでいます。 問い合わせ 総務課行政係 ☎22-7719

市民・交通事業者・行政などが一体と

なつて市の公共交通のあり方を考える場として、「竹原市地域公共交通活性化協議会」を設置しました。

なぜ公共交通が必要？

多くの市民のみなさんは、通勤・通学などをはじめ、日常的な外出時の交通手段としてマイカーを中心に利用しており、JR呉線や路線バスなど公共交通機関の利用者は年々減少しています。

「利用者が少ないのであれば、残す必要がないのでは？」「道路や駐車場をもっと整備すべきでは？」といった考えもあると思います。しかし、これから先のことを考えたとき、このままでよいのでしょうか？

昨年度実施したアンケートでは、普段マイカーを利用している市民のみなさんの中にも、将来の交通手段に不安を感じる人が少なくないことがわかりました(図1)。マイカーは確かに便利な

乗り物ですが、今、運転できている人も、年齢を重ねていくごとに、視力や反射神経の低下などにより、それまでと同じように運転することが難しくなることも予想されます。

運転することをやめた人をはじめ、マイカーを利用できない市民の自由な外出を支えるのが公共交通の役割ですが、今の竹原市の公共交通は、必ずしも使いやすいとはいえない状況にあります。

一方、高齢者の人口は増えており(図2)、これから先のことを考えた場合、マイカーの利用を中心とする交通手段だけでなく、公共交通機関の利用促進を図る施策が必要ではないかと考えられます。

これからの高齢社会への対応だけでなく、マイカーの利用を中心とする社会は、観光振興の面(観光客の交通手段確保など)や、環境保全の面(CO2削減など)においても、様々な問題が生じる事が想定されます。

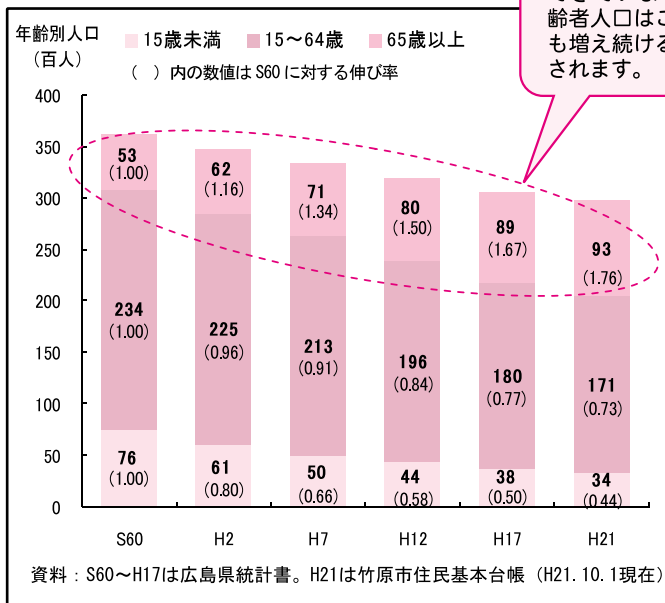


図2 竹原市の年齢層別人口の推移

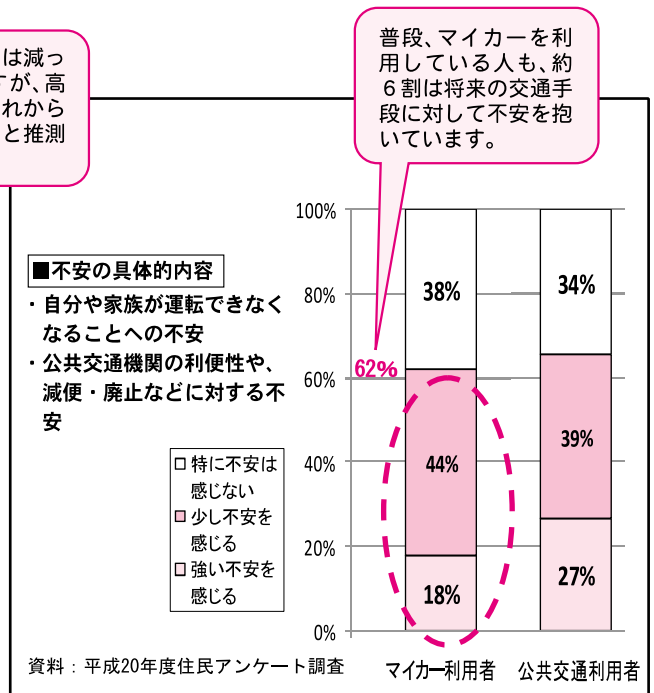


図1 将来の交通手段に対する不安度

誰もが使いやすい公共交通をつくるために

市では、平成19年度から、公共交通に関する様々な調査を行ってきました。

この調査結果などを踏まえ、使いやすく持続可能な公共交通のあり方について検討するため、今年度「竹原市地域公共交通活性化協議会」を設置し、取り組みを始めました。

誰もが使いやすい公共交通をつくるために、市民のみなさんが公共交通を自分の身近な問題としてとらえられるよう、今後もきめ細かな情報提供を行っていきます。

竹原市の公共交通について、共に考えていきたいと思います。